

「学志舎で心に残っていること」

私は高校生の時に行った田植えと
稲刈りが今でも記憶に残っています。

普段はスーパーや通販で何気なく売っているお米ですが、
この経験を通してお米に対する感謝の気持ちを
より深く知ることができました。

さらに、農家の方のお話を直接聞くことができ、
学校や日常生活の中で学べないことも
知ることができました。

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

高1の冬、卒業する先輩から創大君の担当を引き継ぎました。
彼はそのころには自分で計画を立てて学習を進めることができていました。
理科系の科目に関しては高2でほとんど終えており、
難しい問題も楽しそうに解いているのが印象に残っています。
日ごろから深く考える癖がついていたことが合格につながったのだと思っています。
向上心も強く、受験終了後には英語の資格試験の話をしていましたね。
もう3年生になったのですね。忙しくなりますが、お互い頑張っていきましょう。
また夏に学志舎で会えるといいね!



担当コーチ 福田仙一 岐阜大学医学部5回生

高2の秋、このシリーズ第1回目に登場された、日下部先輩が学志舎を訪れ、
特別授業が実施されました。最後に質問コーナーがあり、
私は「高校時代何か失敗したことはありますか?」と質問しました。
その時の答えが「しいて言えば、物理。難問ばかり解いて、基礎をおろそかにした。
だから物理は思った程に伸びなかった。基礎は体に染み込むまでとことんやってください。」
岐阜高校のトップクラスだった先輩のこの言葉には驚きました。
そしてやもすれば難しい問題に取り組みがちだった私の心に突き刺さりました。
以降基本・基礎を大切に受験勉強に取り組んだことを思い出します。
(詳しくは裏面に)

私は今年で大学の3回生になりました。
現在、座学では高分子や有機物の合成方法を学び、
実験では学んだ合成法を実施したり
その実験結果からプレゼンを行ったりの日々です。
知らないことばかりで新しい発見が多く、楽しく日々を過ごしています。
大学生活も残り半分となりましたが、これからも様々なことを学び、
将来社会に出た時にこの学びを活かしたいと思っています。

私が学志舎に通い始めたのは小学校6年生になる春休みのことでした。
それから7年間通い続けましたが、
そのおかげで計画を立てる力を身に着けることができました。
現在もレポートや課題等やるべきことが多くても
先を見通して充実した日々を送ることができています。
学志舎で学び、過ごしたことで
今でも活かせる多くの力を身に着けることができました。

受験まで親身になって熱く指導くださった福田コーチ、
またセンター試験の前日、救急外来勤務という忙しい身でありながら、
夜遅く学志舎まで激励に駆けつけてくださった
高1の時の担当の西田コーチには感謝しかありません。
そして勉強だけではなく
人生、政治、経済にわたって広く教えてくださった塾長、
どんな時でもいつも笑顔で励ましてくださった事務長、
本当にありがとうございました。

「卒業生 学志舎で語る」 vol.10



「卒業生 学志舎で語る」
バックナンバーはこちら

卒業生 山本 創大 金沢大学 理工学域3回生

学志舎

智をつけよ そして人の為に活かせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00~21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索